

令和6年度 一般財団法人 新潟県建設技術センター研究助成事業

柏崎市中通地区をモデルとした「関係人口の創出・拡大」事業 活動報告書



(令和6年5月5日開催：第1回中通・田園ウォーク)

令和7年3月

代表申請者 新潟工科大学 樋口 秀

## 1. 事業の概要

### 1-1 目的

柏崎市内の農村地域（中通地区）を対象に、これからの地域創生の鍵を握るとされる「関係人口の創出・拡大」を目的とした調査研究とフィールドワークの3か年事業である。

※関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない。地域や地域の人々と継続的に多様に関わる者。

### 1-2 背景

中通地区は、柏崎駅から約10kmに位置し、国道8号や主要地方道が通り、生活基盤の比較的整った農村地域である。一方、人口減少や少子化が進み、地区内で唯一の小学校も児童数が激減し、柏崎市の学区再編方針では令和8年度に近隣の小学校へ統合されることが提示されており、将来が心配される状況にある。

また、全国的な動きとして、近年、若者世代や子育て世代に田園回帰の志向が見られるほか移住促進が思うような成果につながっていないことから、移住より心理的負担の小さい「関係人口」が地域創生の鍵を握ると考えられるようになってきている。

そのような動きを踏まえ、関係人口に着目し、その潜在的条件のそろった中通地区を対象に、全国のモデルとなるような「関係人口の創出・拡大」に取り組むものである。

### 1-3 事業推進組織

新潟工科大学の建築・都市環境学系教授、樋口秀ほか同大学の教員2名、学生1名、中通地区居住者1名の計5名で構成する組織（チーム）が主体となり事業を推進する。

### 1-4 実施スケジュール（3か年の年次計画）

#### ■ 1年目(令和4年度)

- ・地域との関わり方及び関係人口に関する学習
- ・地域理解・地域資源の調査（「中通ゆかりの若者が中通を語る座談会」の開催）

#### ■ 2年目(令和5年度)

- ・関係人口に有効な地域資源の活用調査（「田園ウォーク」の試行、「水田景観勉強会」の開催、県内外のウォークイベントに関する調査）
- ・活動に関する地域との共有（「中通の水田景観と田園ウォーク発表会」の開催）

#### ■ 3年目(令和6年度)

- ・関係人口への有効性が見込まれる事業の実施（「田園ウォーク」の本格実施）
- ・同事業の有効性、継続性に関する検証、活動の振り返り

## 2. 地域との関わり方及び関係人口に関する学習（令和4年度）

### 2-1 中通地区との関係づくり（地区代表者、行政関係者へのあいさつ、事業説明）

#### ■地区代表者：中通地区行政振興会・会長、中通コミュニティ振興協議会・会長

- ・R4.1.8：中通地区を対象とした事業の実施を説明し了解を得た。
- ・R4.4.21：助成事業の採択を報告し、協力をお願いした。

#### ■行政関係者：柏崎市（元気発信課、市民活動支援課）

- ・R4.4.21：柏崎市担当課を訪問し、事業の説明をし、活動への理解と協力をお願いした。

### 2-2 地域への入り方・関わり方の学習

#### ■にいがたイナカレッジのコーディネーターを講師とした勉強会

##### ○第1回「共感から生まれる関係人口」

- ・副題：地域に受け入れてもらうために必要なこと
- ・講師：金子知也さん
- ・日時：6月17日（金）16:30～17:30
- ・場所：新潟工科大学 ゼミ室
- ・参加者：11名（チームメンバー、新潟工科大生）

##### ○第2回「心と体の旅をする」

- ・副題：若者が地域に関わることで得られるもの
- ・講師：井上有紀さん
- ・日時：9月30日（金）15:00～17:30
- ・場所：新潟工科大学 会議室
- ・参加者：10名（チームメンバー、新潟工科大、新潟産業大生）



※にいがたイナカレッジ：公益社団法人、中越防災安全推進機構（長岡市）の内部組織。2012年から中越地震により過疎化の流れが加速化した農村地域で、都市部の若者を受け入れる農村インターンシップなどに取り組んでいる。

## 3. 地域理解・地域資源の調査（令和4年度）

### 3-1 地区行事への参加

地区行事の夏祭り「あかりナイト」やコミュニティ祭りに準備段階から参加した。

### 3-2 地区内の外部人材、農業関係者との面談

地区内の外部人材（地域おこし協力隊）や農業関係者を訪問・面談し、仕事の内容や展望、地域のことなどを聞いた。

### 3-3 集落単位の土地利用現況調査、土地利用現況ヒアリング

地区内の土地利用の実態を把握するため、3つの集落を対象に、土地利用現況調査を実施した。また、12月に全集落（9集落）の町内会長に、土地利用に関するヒアリングを実施した。

### 3-4 地域資源に関する資料「映像で見る中通」の作成

地区の地域資源を「映像で見る中通」として編集した。スライドは全部で48枚、5区分（「地形、景観」「地区行事」「人」「公的施設、生活施設等」「活動」）

### 3-5 「中通ゆかりの若者が中通を語る座談会」の開催

令和5年1月、中通ゆかりの若者が、中通の思い出や好きなおところ、おすすめの場所を発表し、発表者間で語り合う座談会を開催した。

#### ■中通ゆかりの若者（発表者）

- ・中通出身で現在県外居住3名（千葉県、広島県、福島県）
- ・県外出身で中通に居住経験あり2名（田舎暮らしインターン、地域おこし協力隊）

#### ■発表者の「中通の好きなおところ、おすすめの場所」抜粋

##### ○新田瑞希さん（中通出身者）

- ・山の麓にある実家から見える景色。緑があってすごく落ち着く。
- ・春の雪が溶け始めたころの匂い、土の匂いや田んぼを耕したあとの匂いが好き。

##### ○室賀幸太郎さん（中通出身者）

- ・田んぼに映る夕日。田植え直前の5月頃の田んぼに水をはった時が一番きれい



##### ○渡辺七海さん（中通出身者）

- ・人が優しいところ。帰省すると、地域の人が「お帰り」と声をかけてくれる。それが、すごく嬉しい。
- ・ランニングが好きで、よく花田の中を走った。花田は田んぼが多く平坦でランニングに適している。そこで聞こえるカエルの鳴き声も好き。



##### ○吉田涼香さん（田舎暮らしインターン）

- ・矢田の集落開発センター。「みんなの家」みたいで、みんなが自由に使える。みんなが責任をもって管理している。そこから見える景色もすてき。
- ・住む場所として、とても心落ち着ける場所だと思う。

##### ○野々垣翔太さん（地域おこし協力隊）

- ・田んぼの夕日。夕焼けに鳥肌がたった。慣れない土地で仕事にぐったりした時も、疲れやストレスを忘れさせてくれる景色だった。
- ・地元（愛知県）に戻ってみると、雪景色や冬の静けさが恋しい。

## ■当日の様子



前半の部 個別発表



後半の部 語り合い

## 4. 関係人口に有効な地域資源の活用調査（令和5年度）

### 4-1 中通・新緑の田園ウォークの試行実施

#### ■田園ウォークの概要

- ・開催日：令和5年5月14日（土）
- ・主催：中通地区「関係人口の創出・拡大」研究チーム
- ・コース：中通座談会で紹介されたおすすめの間所を中心に全9集落を巡る（バス併用）、歩行距離4.3km、所要時間3時間、各スポットで説明
- ・参加者：29人、中通座談会出席者、関係者、知人（一般募集はなし）



#### ■田園ウォークの感想

##### ○昼食後の感想発表（花田・Sさん）

- ・矢田の夕日を見る場所は、送電線もなく、米山もよく見えて、中通らしい風景だと思う。

##### ○参加者アンケート（飯塚・Yさん）

- ・久しぶりに中通を歩いて、小学生の頃に通学したり、遊んだりしたことを思い出した。

## ○柏崎日報・柏崎抄の抜粋

- ・地区内にこれほど見どころがあるとは。薫風を感じながら歩くのもいいものだ。

## 4-2 水田景観勉強会の開催

同年9月、中通座談会や田園ウォークで焦点となった「水田景観」を、より深く学ぶため、ランドスケープが専門の片桐由希子氏を講師に招き勉強会を開催した。

### ■水田景観勉強会の概要

- ・開催日：令和5年9月9日（土）
- ・会場：新潟工科大学 会議室
- ・講師：金沢工業大学准教授 片桐由希子氏
- ・参加者：18人



## 4-3 県内外のウォークイベントに関する調査

ウォークイベントのコース設定や運営方法などを学ぶため、県内外のウォークイベントに参加した。（計8回）

### ■県内事例1：阿賀野ウォーク&イート

- ・開催日：令和5年9月18日（月・祝）
- ・主催：実行委員会、開催場所：阿賀野市村杉
- ・コース：歩行距離7km、所要時間3時間、参加費：3,500円
- ・参加者：160人（定員150人）、ガイドなし
- ・特徴：歩くことと食べることの組み合わせ（コースの途中で様々な食べ物が提供される）、ウォークイベントとして県内最大級の規模、人気も高い。



## ■ 県内事例 2：八色の森健康ウォーキング

- ・開催日：令和5年9月23日（土）
- ・主催：実行委員会、開催場所：南魚沼市浦佐
- ・コース：歩行距離 10 km、所要時間 2.5 時間、参加費：500 円
- ・参加者：約 50 人、ガイドなし
- ・特徴：制限時間あり（2.5 時間で 10 km）、ひたすら歩く、でも爽快

## ■ 県外事例：全国フットパスの集い・D コース

- ・開催日：令和5年10月29日（日）
- ・主催：実行委員会、開催場所：福島県西郷村
- ・コース：歩行距離 5 km、所要時間 3.5 時間、参加費：500 円
- ・参加者：20 人（10 人ずつ 2 班）、定員は 40 人
- ・特徴：少人数の班編成、ガイド有、集団で歩く、ガイドの説明による立ち止まりが多い。ペースがゆっくりな分、参加者同士の会話は増える。



## 5. 活動に関する地域との共有（令和5年度）

### 5-1 中通の水田景観と田園ウォーク発表会の開催

令和5年11月、田園ウォークの試行実施や県内外のウォークイベントに参加して学んだことを基に、地域の方々に向けて発表会を開催した。

#### ■ 中通の水田景観と田園ウォーク発表会の概要

- ・日時：令和5年11月18日（土）14：00～15：30
- ・場所：中通コミュニティセンター 2F 和室
- ・発表内容と発表者

「中通地区における調査・研究・活動の報告」新潟工科大4年 小林右京

「中通の水田景観の魅力」～R4.11 まで矢田・地域・おこし協力隊 野々垣翔太さん

「水田景観を見どころとした田園ウォークの展望」主催関係者（中通在住）吉田芳郎

- ・参加者：23 人

## 6. 「田園ウォーク」の本格実施（令和6年度）

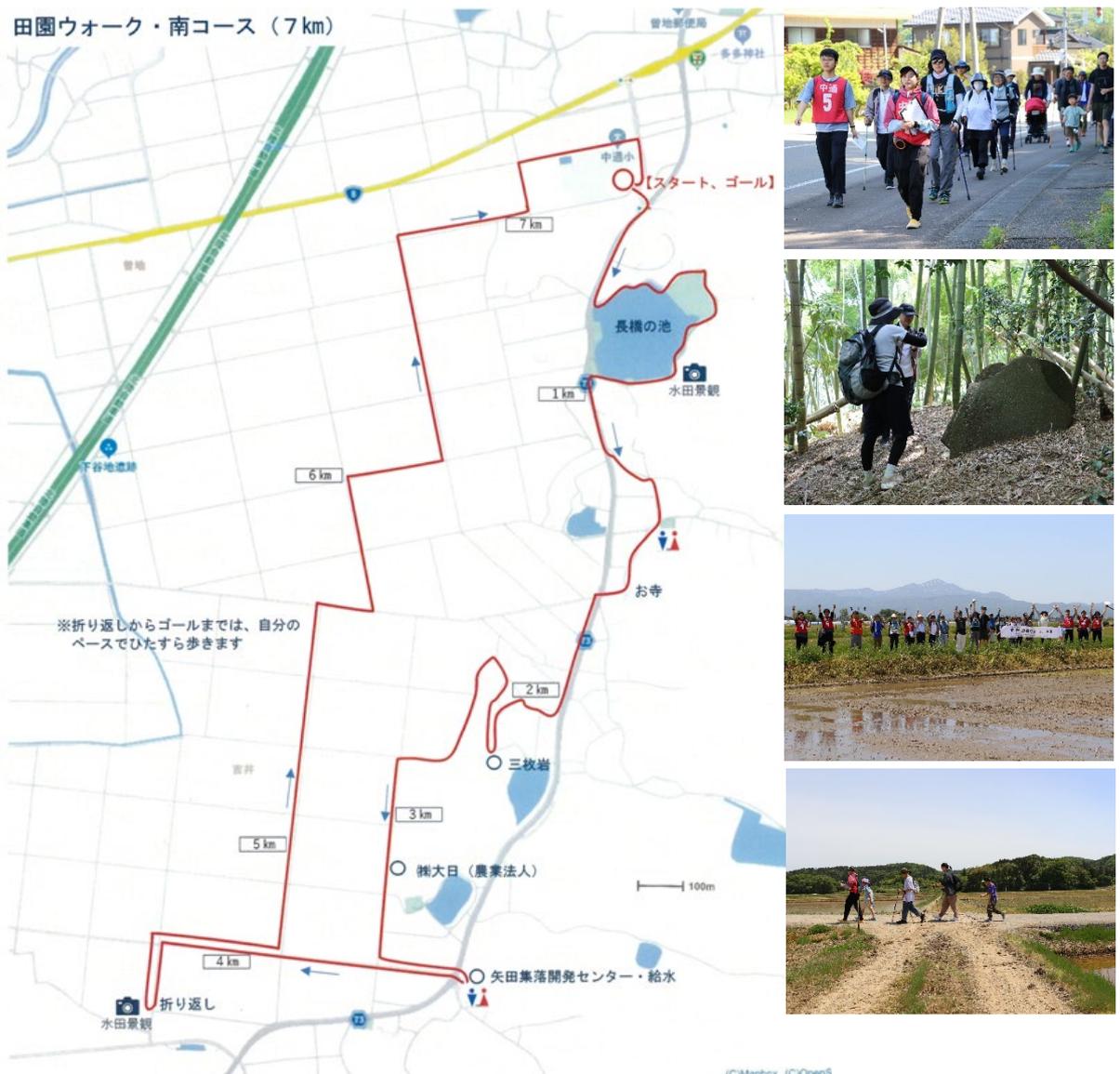
### 6-1 関係人口への有効性が見込まれる「田園ウォーク」の本格実施（参加者一般募集）

#### ■田園ウォーク本格実施の概要

- ・日時：令和6年5月5日（日・祝日）9：00～12：00
- ・コース：中通地区の北側と南側の2コース、ウォーク終了後に昼食
- ・主催：中通地区「関係人口の創出・拡大」研究チームと中通コミュニティ振興協議会
- ・定員：各コース20人、計40人（実際：一般参加32名、うち地区外からの参加14名）

#### ■開催のねらい

- ・地区内外の人に、中通地区の農村風景や田園風景を知ってもらう。
- ・同じコースを同じ時間、様々な地域・様々な年代の人が参加し、一緒に歩く楽しさを感じてもらう。
- ・連休に帰省する地元出身者や農村に関心のある都会人など、地区内外の人が集まり交流する場を提供する。



## 7. 3年間の振り返り「振り返りの会」（令和6年度）

### ■振り返りの会

- ・日時：令和6年12月14日（土）
- ・場所：新潟工科大学 2F 講義室
- ・出席者：樋口秀ほか活動の中心メンバー3名

### ■振り返りの結果

- ・外から人が来てもらえるとうれしい。誇らしい気持ちになる。
- ・農村集落や田園風景の魅力は五感で感じること、そしてそれを言葉で伝えることの大切さを学んだ。
- ・フットパスという英国スタイルのウォークを学習し、価値観を押し付けない「わび・さび」の心得を学んだ。



## 8. 今後の展望

「田園ウォーク」から始める関係人口の創出拡大の展開へ向けて

### ■ウォークの魅力について

#### ○魅力1（全国フットパスの集い・基調講演より）

- ・歩くことは、前へ進むこと、心と体を元気にしてくれる。

#### ○魅力2（中通・田園ウォーク 野々垣 翔太さん）

- ・歩くことは、頭を活性化する。五感が研ぎ澄まされる。

#### ○魅力3（著書「フットパスによる未来づくり」より）

- ・いつも車で通る道でも、歩いてみるとそれまで隠れていた魅力が見える。
- ・様々な人とつながる。歩いていけば声をかけやすい。たくまらずとも様々な交流ができる。

### ■田園ウォークを「中通のタネ」に

- ・中通は、水田景観とウォークの相性がよさそう
- ・2つを組み合わせ、地区内外の様々な年代、様々な暮らし方をする人が交じり合う場づくりの「タネ」に、地域の方々と共に活動を続けていきたい。

## おわりに

新潟県建設技術センターの活動助成をいただいたお陰で、関係人口をテーマに活動を進めることができ、中通地区の方々をはじめ多くの方々とつながりができました。それらを支えにして、これからも活動を継続していきたいと考えています。皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

新潟工科大学 工学科4年 末崎日成太

※添付資料：令和7年度 第2回中通・田園ウォークの開催案内

# 参加者募集 曾地峠の麓に広がる水田と農村集落 春の田んぼ道を歩く



## 2025.5/5 第2回 中通・田園ウォーク

- 日時 令和7年5月5日 9:10～11:50（雨天決行、受付開始9:00、昼食12:10～）
- コースと定員 曾地コース3.2km 20名、吉井コース4.4km 20名、各コースの詳細は裏面参照
- 参加資格 どなたでも参加可能（小学4年生以下は保護者同伴）
- 参加費 昼食付500円、昼食なし200円（受付時徴収、高校生以下と20歳のつどい該当者は無料）
- 集合場所 新潟県柏崎市曾地130番地4 中通コミュニティセンター  
（現地集合・現地解散、駐車場あり）
- 申込先（問い合わせ先）及び申込方法
  - ・申込先：中通コミュニティセンター TEL 0257-28-2002（平日9:00～17:00）
  - ・申込方法：①メール、②参加申込書持参、③FAX、④電話、のいずれか  
氏名、住所、電話番号、参加コース、昼食の有無を記載、または電話連絡  
メール：c-naka@kisnet.or.jp、FAX：0257-28-2003
  - ・申込受付期間：3月17日（月）9:00～4月30日（水）17:00（定員になり次第受付終了）
- 主催 田園ウォーク実行委員会（中通コミュニティ振興協議会、新潟工科大都市計画研究室）
- 協力団体 ㈱大日（昼食提供）、中通地区行政振興会、曾地町内会、吉井町内会

切り取り線

### 【参加申込書】

お名前	住所	電話番号	参加コース	昼食の有無
			<input type="checkbox"/> 曾地コース <input type="checkbox"/> 吉井コース <input type="checkbox"/> どちらでも可	
			<input type="checkbox"/> 曾地コース <input type="checkbox"/> 吉井コース <input type="checkbox"/> どちらでも可	
			<input type="checkbox"/> 曾地コース <input type="checkbox"/> 吉井コース <input type="checkbox"/> どちらでも可	